

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

大学全体

建学の精神「自由、愛、正義」の下、豊かな人間性を備え、現代的課題への対応能力、問題解決能力を有する者に次の学位を授与する。

1. 専門分野における学術の理論と応用を修得し、知的道徳的に円満な教養を有する者に対し学士の学位を授与する。
2. 専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有する者に対し修士の学位を授与する。
3. 専攻分野における研究者・技術者・高度専門職業人として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力、柔軟な応用能力及びその基礎となる豊かな学識を有する者に対し博士の学位を授与する。

経営学部 学士（経営学）

<経営学科>

建学の精神「自由、愛、正義」の下、教育のモットー「創造と人間性」を発揮する幅広い教養を持ち、グローバル対応を迫られる地域産業や国際社会に貢献する人材を育成することを目指し、以下に示した基準を満たす学生に学位を授与する。

1. 社会に対して豊かな幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
2. 日本人だけでなく外国人にも表現力とコミュニケーション力を発揮し、協働できる。
3. 論理的に状況を分析し、問題解決へ向けて主体的に対応することができる。
4. 経営者育成、ものづくり、経理・会計、企画・営業サービス、IT のいずれかを得意分野とし、企業をはじめとする組織を運営する専門知識を備えている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

大学全体

教育のモットー「創造と人間性」の下、「ものづくり教育」を通しての人間形成を目的とし、更に学際化、国際化に対応するため、コミュニケーション能力を有し、社会の変化に適応できる高度な専門知識を持った人材を養成するために次の教育課程を編成する。

1. 学部教育においては、社会的要求に応えるカリキュラムの編成と基礎学力向上、総合的教養教育及び各学科各専攻の特徴と専門性に基づき、社会や技術の発展に貢献し、創造と人間性を加味した技術者の養成を目的とした教育課程を編成する。
2. 大学院教育においては、知識基盤社会への対応のため、博士前期課程及び博士後期課程では、各専攻の特徴と専門性に基づき、分析能力や問題解決能力を有し、自立して研究の発展に取り組む高度な技術者、研究者の養成を目的とした教育課程を編成する。

経営学部

<経営学科>

ビジネス分野における知識・技術・技能の育成、学術的教養を基盤とする知識を育成、さらに何事にも前向きに取り組み、自発的に問題を解決できる人格形成を目的とし、学生個人が自己の関心や得意分野、目的にあわせて選択履修できる教育課程を配する。先ず初年次教育では、経営学の基礎、語学、情報学に加え、社会人基礎力を身につける基礎的な科目をカリキュラムに含める。

専門科目では、経営情報システム、スポーツマネジメントの両分野における知識・技術・技能を育成する授業科目と広範囲の学術的教養を基盤とする知識育成を目的とした、以下の多様な教育課程を設定する。

1. 企業のマネジメントに関する専門知識を踏まえ、国際ビジネスでも通用する語学力と国際感覚のある経営能力を身につける教育課程
2. 卓越したコミュニケーション能力を持ち、経営企画、商品企画、マーケティングに加え、営業サービスにおけるビジネスでも活躍できる広範な知識を身につける教育課程
3. 短い時間で効率的に良いものを作るための知識、さらに技術を事業に結びつけて価値創出するために戦略を立案し実行する能力を身につける教育課程
4. 簿記や企業会計について学び、税理士・公認会計士などのスペシャリストを目指すための基礎を習得し、企業の経理部門で活躍できる能力を身につける教育課程
5. ICT（情報通信技術）を駆使しながら、高度なビジネスマネジメントを実践でき

る能力を身につける教育課程

成績評価については、透明性と公平性を保証するためにG P A制度を採用し、単位の
実質化をはかるため履修登録単位数の上限設定制度を導入している。さらに高い教育の
質を保証するため、教員の教育資質を高める教員研修、学修や進路相談等の学生支援を
実施している。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

大学全体

確かな学識と豊かな人間性を合せ持ち、かつ優れたコミュニケーション能力を備えた人材を育成するため、一定の基礎学力、専門知識、学習意欲、生活習慣等を有し、その成長が期待でき、次の素養を持つ学生を受け入れる。

1. 本学の建学の精神に対する理解、共感
2. 自主的に学ぶ意欲
3. 知的好奇心と柔軟な思考力
4. 社会に貢献しようとする強固な意思
5. 困難な状況を克服しようとするチャレンジ精神

このような入学者を選抜するため、多様な入試を実施する。

経営学部

<経営学科>

本学科は卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）に定める教育を受けるため、次に挙げる「求める学生像」ならびに「入学時までに学習が望ましい教科、科目、資格等」を備えた人材を求めます。

「求める学生像」

1. ビジネスにおけるコンピュータやインターネットの応用を学びたい人
2. 企業会計や財務に興味がある人
3. 未来のビジネス社会について関心のある人
4. 国際的視野で企業ビジネスを考えたい人
5. 事業継承者、企業家2世・3世
6. 広範囲のビジネススキルを身につけたい人

「入学時までに学習が望ましい教科、科目、資格等」

1. 英語、国語、社会の教科書を再度復習し内容を深める事が望ましい。
2. 国語では、現代文の語彙を増やす。
3. 英語では、文法を一通り勉強した後、単語・熟語などの語彙力の強化が必要。
4. 社会では、特に教科書の基本知識を確実に押さえておくこと。